

# 社会・労働関係文献月録

・分類表は1991年5月号に掲載されています。  
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。  
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引いたします。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305  
 東京都町田市相原町 4342 (〒194-0298) F. 042-783-2311

2001.4.1 ~ 2001.4.30 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻・号)(月 号)  
 \*印単行書の場合 (発行所) (判・頁)(刊行年月)

## 理論・一般

### 0. 総記

特集 労働問題研究の現在 - 1980 ~ 2000年(1)	大原社会問題研究所雑誌	500	00.7
労働市場(野村正實)労働とジェンダー(木本喜美子)労働者協同組合(小関隆志)			
労働者世界 未だ叶わぬ吉村励の夢	福田義孝 経済学雑誌(大阪市立大)	101-1	00.6
特集 労働研究を学ぶ・教える	日本労働研究雑誌	477	00.4
労働基準法から雇用関係法へ(島田陽一)労働法入門(小畑史子)			
集团的労働関係法のテキストに望むもの(村中孝史)理論と現実のほどよい緊張(尾高煌之助)他			
*ジェンダーの罨	諸橋泰樹 批評社	B6.182	01.1
*トヨタシステムの原点	下川浩一, 藤本隆宏編著 文真堂	A5.231	01.2
*マクロ経済の動向と貿易黒字問題	吉川洋述 日本労働研究機構編 教育文化協会	B5.36	97.1
*労働統計国際比較表集成 主要国編	法政大学日本統計研究所	B5.202	90.4
*保育年報 2001全国保育協議会編	全国社会福祉協議会	A4.193	01.2
*部落解放・人権年鑑 2000年版	部落解放・人権研究所	A5.368	01.3
*労働関係文献索引 2000年版	愛知県勤労会館	A4.185	01.2
*向坂逸郎文庫目録 5	法政大学大原社会問題研究所	B5.111	01.3
*労働白書目次総覧 1	日本図書センター	A5.476	00.9
*労働白書目次総覧 2	日本図書センター	A5.478-888	00.9

### 1. 労働論

グローバル化の傾向 - 新しい条件下での人間と労働	エケハルト・ザクセ訳: 竹林浩志 関西大学商学論集	45-2	00.6
変わる労働			
樋口美雄, 竹内佐和子, 石田光男, 平野泰朗, 中野麻美, 花田昌宣	季刊家計経済研究	41	99.冬
働き方の再構築	今田幸子 日本労働研究雑誌	479	00.6
死んだ労働による生きた労働の支配	頭川 博 一橋論叢	123-6	00.6
特集 新しい働き方	労働と経営	38-6	00.6
新しい働き方の問題点と可能性(萩平 勲)これからの雇用形態(竹村之宏)			
2. 労使(資)関係論			
*仕事と時間の主人公をめざして	関西生産性本部	A4.117	91.7
3. 労働経済論(含 賃金論)			
労働移動の制約と産業集積	吳 逸良 経済集志(日本大)	70-1	00.4
『使用者性』を考える	中村嘉男 地労委	37	00.3
大転換期を迎えて 今必要なのは労使関係の再構築	小橋年雄 地労委	37	00.3

連結経営における労使関係について	岩永充夫	地労委	37	00.3
定昇のない賃金制度をどう作りどう運用するか	串田武則	賃金実務	860	00.6.15
賃金論の再考	中川スミ	賃金と社会保障	1273	00.5月上旬号
業績給と業績評価	武脇 誠	東京経大会誌	216	00.2
4. 経営労務論				
コミュニケーションの非人格化	磯村和人	商学論集(福島大)	68-3	00.3
人材育成のための人事考課制度	社会経済生産性本部	賃金実務	860	00.6.15
定昇を廃止し、成果・実力主義を反映させた「がんばる人は報われる」処遇体系へ	臼井浩司	賃金実務	860	00.6.15
5. 社会政策, 社会福祉, 社会保障論				
特集 新時代に適応した社会保障制度の構築を		ウェルフェア	39	00.5
年金受給者も応分の公的負担を(高山憲之)負担の先送りの早期解決を(石田重森)				
医療保険もニードに応じた予算配分へ(一圓光彌)労働を中心とした福祉型社会へ(笹森 清)他				
環境激変下の社会保障	野村健太郎	大分大学経済論集	52-1	00.5
わが国の医療・福祉と非営利・協同組織	角瀬保雄	経営志林(法政大)	37-1	00.4
イギリスの所得保障制度における福祉権活動の研究(1)				
伊藤秀一, 菊池信子, 坂野憲司, 児玉谷広子		駒沢社会学研究	32	00.3
福祉パラダイムの転換と福祉社会の形成	岩田若子	産能大学紀要	20-2	00.2
社会福祉における国際比較調査の方法と課題	和気康太	社会学・社会福祉学研究(明治学院大)	108	00.3
社会保障論の世界的潮流(上)	西村 淳	週刊社会保障	2088	00.5.29
社会保障論の世界的潮流(下)	西村 淳	週刊社会保障	2089	00.6.5
韓国における老齢手当制度と敬老年金制度の形成過程について				
	株本千鶴	人文学報(東京都立大)	310	00.3
介護保険制度いよいよスタート	塩見戎三	造船重機	131	00.1
日本における福祉国家論の展開とその理論的特質	岡本英男	東京経大会誌	217	00.3
*高齢者福祉の比較文化	片多順編著	九州大学出版会	A5.210	00.11
6. 産業・労働社会学				
労働・余暇・アイデンティティ	井上雅雄	大原社会問題研究所雑誌	499	00.6
横浜市における就業者の通勤流動と産業構造の変化	宮坂彰志	都市政策研究シリーズ(横浜市立大)	3	00.3
銀行労働の記録(2)	榎本 環	労働社会学研究	2	00.6
*日本の労働社会学	河西宏祐	早稲田大学出版部	A5.231	01.2
8. 職業教育・訓練論				
技術・技能伝承のための技能分析とマニュアル構成の方法	森 和夫	職業能力開発研究	18	00.3
ドイツにおける継続訓練(Weiterbildung)の現況	谷口雄治	職業能力開発研究	18	00.3
C U D B A S の発展とその展望	森 和夫	職業能力開発研究	16	98.3
職業能力開発における公共教育訓練の役割についての一考察	清水 勤	職業能力開発研究	16	98.3
「職業訓練学」(エルゴナジー・Ergonagy)の位置と構造				
	田中萬年, 戸田勝也	職業能力開発研究	17	99.3
職能資格基準作成手続きの構築	新井吾朗	職業能力開発研究	17	99.3
職業能力開発短期大学校におけるWWW技術活用	二瓶裕之	職業能力開発報文誌	11-1	99.3
*職業教育及び職業指導	伊藤一雄	佛教大学通信教育部	A5.272	98.1
労働問題				
10. 総 記				
特集 セクハラと雇用・人事		日本労働研究雑誌	478	00.5
セクシュアルハラスメントの実態と防止のための配慮義務(富田契子)				
セクシュアル・ハラスメントをめぐる法的枠組み(奥山明良)他				

リベラリズムの視点から21世紀の人類, 社会を展望する(対談)	宇沢弘文 鷲尾悦也 連合	12-12	00.3
* 労働と生活	愛知労働問題研究所	B5.124	01.1
<b>11. 雇用・労働市場</b>			
北海道における「完全失業者」・非労働力人口中の「失業者」の増大の統計的検討			
	椎名 恒 生涯学習研究年報(北海道大)	7	00.3
特集 若者の適職探しを支援する	J I L@Work	2	00.Summer
「学校から職業へ」の移行の変化と大卒未就業者の卒業後の状況(報告)(小杉礼子)			
フリーター予備軍の実像(報告)(本田由紀)フリーターの意識と実態(報告)(上西充子)他			
特集 労働市場はどう変わるか?	エルダー	22-6	00.6
ハイタッチがハイテクへの障壁を解消する(原田宏一 平野茂夫 和田俊男)			
せめぎ合う建前と労働力不足への対応(森永卓郎)			
公的年金とのリンクで雇用延長一歩前進(エルダー編集室)他			
日系人労働市場のミクロ分析	丹野清人	大原社会問題研究所雑誌	499 00.6
日本の失業と雇用	栗林 世	経済学論纂(中央大)	40-5/6 00.3
雇用システムの変容と年金改革	山ノ内敏隆	週刊社会保障	2089 00.6.5
現代の貧困と社会保障	星 真実, 小澤薫	中央大学経済研究所年報	30 00.3
セーフティネットの修復は進んだか(1)	上畑恵宣	賃金と社会保障	1273 00.5月上旬号
セーフティネットの修復は進んだか(2)	上畑恵宣	賃金と社会保障	1274 00.5月下旬号
主要大都市圏におけるオフィス・店舗従業者の空間分布の変化	石川雄一 長崎県立大学論集	33-4	00.3
大学卒業生の就職と会社への初期適応過程	榊原清則	日本労働研究雑誌	479 00.6
特集 時代がつくる新しい下層……?	寄せ場	13	00.5
新しい下層と組織されざる階級闘争(小倉利丸)都市下層の可視化と変容(西澤晃彦)			
新しくもあり, 古くもある下層(笠井和明)野宿者の人権(笹沼弘志)			
大学生の就職・職業意識	土屋直樹	連合総研レポートD I O	140 00.6
正社員との均衡考慮した条件整備を(報告)労働省・パート労働雇用管理研究会	労経ファイル	292	00.6.1
特集 新・新人類の職業観	労働調査	376	00.6
東京ディズニーランドを支える「フリーター気質」(染井 稔)仕事をめぐる現代大学生気質(森 清)			
フリーターの参入契機と職業意識(上西充子)			
* 神奈川の雇用問題		神奈川県経営者協会	A4.23 00.7
* 神奈川を中心とする雇用問題の現状と課題		連合神奈川政策局	A4.1冊 00.8
* オーストラリア労働市場視察団報告		全国求人情報誌協会	A4.146 00.9
<b>12. 労働条件</b>			
新裁量労働制の概要と導入上の留意点	盛 誠吾	労働法学研究会報	2190 00.2.20
会社分割と労働関係	本久洋一	労働法律旬報	1478 00.4.下旬
「企画型」裁量労働制は働き易いか?	鴨田哲郎	労働法律旬報	1478 00.4.下旬
* 首都圏私大の賃金及び教育・研究・労働条件 2000年度		東京地区私立大学教職員組合連合	B5.361 01.3
<b>13. 賃金問題</b>			
男女間賃金格差の決定要因について: 展望	田中康秀	国民経済雑誌(神戸大)	181-6 00.6
新たな支配体制の確立と成果主義	犬飼 憲	労働運動	428 00.7
* 労働条件実態調査<賃金版> 94年		金属機械東京地方本部	A4.102 94.12
<b>14. 労働時間</b>			
夫の通勤時間・労働時間が出生率に与える影響について			
	駿河輝和, 七条達弘, 張 建華	季刊家計経済研究	47 00.夏
学校教員の労働と生活(1)	鷲谷 徹	労働科学	76-6 00.6
* 新たな裁量労働制	労働省労働基準局賃金時間部編著	日刊労働通信社	A5.220 00.3
* 裁量労働のすすめ 厚生労働省労働基準局賃金時間部労働時間課編		労働調査会	A5.190 01.3
* 所定外労働削減要綱		労働省	B5.82 91.8
* 情報サービス産業における労働時間短縮の現状		情報サービス産業協会	A4.46 99.3

15. パート・派遣・家内労働
- 「派遣」という働き方を探る 今村朋子 季刊女も男も 1 98.春  
ドイツにおけるパートタイム労働者の平等取扱原則 川田知子 大学院研究年報(中央大)法学研究科 29 00.2
- 特集 パートタイマー雇用の現状と賃金・労働条件 賃金事情 2367 00.7.5  
パート有効活用の経営効果をアピールすべき(中村 章)  
パートタイム労働の現在と労働組合の取り組み(有戸英明)
- パートタイマーの基幹労働力化と職務態度 小林 裕 日本労働研究雑誌 479 00.6  
スタートした東京ユニオンの労働者派遣事業 高橋正則 労働経済旬報 1652 00.4.下旬  
多様化する働き方と女性パートタイム労働者 神村俊一 労務研究 624 00.6  
\*女性パートタイマー労働実態調査 平成12年度 秋田県産業経済労働部 A4.87 01.3
16. 女性労働
- Equal employment revisited Tadashi Hanami Japan labor bulletin 39-1 00.1  
女性差別は構造的差別 長く重いたたかいを続けて  
原告:堀口暁子 足立明美 清水光江 須崎明美 高倉正子 濱永美津江  
弁護士:坂本福子 あごら 259 00.5
- 「男は仕事,女は家庭」の役割分担是正と企業(男性管理者) 藤井則彦 勤労よこはま 430 00.6  
女性の働き方の選択肢が広がり能力が発揮できる環境になってきた 村木厚子 財形福祉 26-6 00.6  
鉄道業における男女混合職化の進展 首藤若菜 私鉄文化 47 00.6  
女性一般職のキャリア形成 仙田幸子 女性労働研究 38 00.7
- 特集 女性労働とフェミニズム 労働運動とフェミニズム 女性労働研究 38 00.7  
労働組合女性部(婦人部)とフェミニズム(本間重子)  
アメリカ合衆国のペイ・エクイティ運動の今日的意義(居城舜子)  
イギリス工場法とフェミニズム(竹内敬子)他
- 法を上まわる男女平等めざす 加来栄一,堤 悦子 ひろば 1084 00.5.1  
国際レベルをめざした男女共通の深夜労働の法規制の現状と今後の課題  
前原直樹,坂野純子 労働科学 76-5 00.5
- \*女性の就業と在宅ワークに関するアンケート2000報告書 N T Tデータ開発本部システム科学研究所 A4.53 00.12
- \*転身 高橋文子 牧野出版 B6.204 00.9  
\*女性の起業が成功する秘訣 佐藤史郎 三修社 B6.197 01.1
17. 中高年労働
- 適正・公平な就業推進への取り組み(1) 月刊シルバー人材センター 158 00.5  
適正・公平な就業推進への取り組み(2) 月刊シルバー人材センター 159 00.6  
エイジズムを取り除く意義 長田久雄 財形福祉 26-6 00.6  
高齢者雇用制度確立に向けた取り組みについて 佐藤幸雄 全水道 62 99.1  
中高年労働者処遇をめぐる一考察 田多井妃文 大学院研究年報(中央大)法学研究科 29 00.2
- 特集 急増する中高年者の自殺を防ぐために 労働の科学 55-3 00.3  
心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針(労働省労働基準局補償課)  
事例からみた職場での危機介入方策(島悟 長谷川恵美子)働き盛りの自殺を予防するには(高橋祥友)他
- \*多摩地域の高齢者就業を考える 東京市町村自治調査会 A4.153 00.3  
\*高齢者就労の社会心理学 田尾雅夫他 ナカニシヤ出版 A5.190 01.1  
\*高齢者の雇用促進方策に関する調査研究報告書 兵庫県立労働経済研究所 B5.161 92.3  
\*中途採用者雇用管理ガイドブック 雇用開発センター A5.261 98.3
18. 障害者労働
- 障害者雇用の経済理論的整理概論 浅尾 裕 障害者職業総合センター研究紀要 7 98.12  
精神障害者の就労継続に関わる事業所の条件 吉光清,木島伸彦,松為信雄  
障害者職業総合センター研究紀要 8 99.11  
障害者の職業的自立と職業訓練 富田康士 職業能力開発研究 18 00.3

職業的、社会的自立を目指して	小林幸夫	ハロー・コミュニティー東京	102	00.夏季
* 知的障害者の非言語的コミュニケーション・スキルに関する研究		日本障害者雇用促進協会障害者職業総合センター	A4.1冊	00.9
<hr/>				
19. 外国人労働				
外国人労働者の導入施策	駒井 洋	月刊自治研	490	00.7
在日外国人をどう教育するか(講演)	鄭 良二	労働経済旬報	1652	00.4.下旬
* 臨時労働者が将来の市民か	マイロン・ワイナー, 花見忠編著	日本労働研究機構	A5.453	00.3
* 静岡県における外国人労働者の意識調査報告書		静岡県勤労者福祉振興会, 静岡ワークライフ研究所	A4.1冊	96.10
* 移住労働者生活マニュアル	カトリック横浜教区滞日外国人と連帯する会		B5.285	97.4
<hr/>				
21. 労災, 職業病, 健康問題				
Blood lead levels in copper smelter workers in Japan	Kanae Karita/Toshiaki Shinozaki/Eiji Yano/Noriko Amari	Industrial Health	38-1	00.1
Characteristics of coronary heart disease in Japanese taxi drivers as determined by coronary angiographic analyses	Kyouko Kurosaka/Hiroyuki Daida/Takashi Muto/Yoshiro Watanabe/Sachio Kawai/Hiroshi Yamaguchi	Industrial Health	38-1	00.1
Evaluation of worker's exposure to dust, ammonia and endotoxin in poultry industries at the province of Isfahan, Iran	Farideh Golbabaee/Firouzeh Islami	Industrial Health	38-1	00.1
Laboratory evaluation of welder's exposure and efficiency of air duct ventilation for welding work in a confined space	Jun Ojima/Nobuyuki Shibata/Takeshi Iwasaki	Industrial Health	38-1	00.1
Sleep problems in white-collar male workers in an electric equipment manufacturing company in Japan	Akinori Nakata/Takashi Haratani/Norito Kawakami/Akiko Miki/Lumie Kurabayashi/Hiroyuki Shimizu	Industrial Health	38-1	00.1
Blood lead level to induce significant increase in urinary -aminolevulinic acid level among lead-exposed workers	Kae Higashikawa/Katsuya Furuki/Shiro Takada/Satoru Okamoto/Hiroshi Ukai/Takashi Yuasa/Masayuki Ikeda	Industrial Health	38-2	00.4
Impairment of neurobehavioral function and color vision loss among workers exposed to low concentration of styrene-A review of literatures	Reiko Kishi/Shizuka Tozaki/Ying-Yan Gong	Industrial Health	38-2	00.4
Work in OECD on chemical safety	Herman B.W.M. Koeter/Rob Visser	Industrial Health	38-2	00.4
職場で役立つ熱中症・日焼け対策	堀江正知	安全衛生のひろば	41-6	00.6
原因根絶の組織的改善がストレス対策の基本	古谷杉郎	安全センター情報	266	00.6
公務災害裁判4連勝の画期的意義と教職員の課題	村山 晃	ほんりゅう	196	00.8
特集 全国安全週間		労働時報(労働省)	53-6	00.6
労働安全衛生マネジメントシステムに係る最近の動向(尾上史江)				
「建設業労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」について(狩野幸司)				
労働安全のヨーロッパ標準化	ライネル・ミュラー	仮訳: 布施恵輔	労働総研ニュース	123 00.6
特集 今日の労災保険制度と問題点			労働と医学	64 00.1
労災保険財政のしくみと問題点(井上 浩) 労災補償制度の発展と概要(佐久間大輔)				
労災補償制度の運営と認定問題(高田勢介) 労災行政の問題点と給付の現状(大角繁夫)他				
* 過労死・過労問題に関する資料集		東京都労働経済局労政部労働組合課	B5.239	93.3
<hr/>				
22. 労働者意識				
* 通勤形態も考慮にいれた居住と勤務の環境に関する意識の解析	大井 紘, 須賀伸介	環境庁国立環境研究所	A4.93	00.11
* 「教職員の意識調査」結果		国民教育文化総合研究所	A4.40	96.3

## 23. 生活問題

* 50代男性の生活創造に関する調査研究報告書	兵庫県長寿社会研究機構家庭問題研究所	A4.71	00.3
* 青年のライフスタイルに関する調査研究報告書	兵庫県長寿社会研究機構家庭問題研究所	A4.112	00.3
* 定年後に豊かな人生をおくるために	岡 好彬 東洋出版	B6.169	00.9
* ワークスタイルの変容とワーカーマーケットの郊外化に関する研究	東急総合研究所	A4.227	97.

## 労働運動

## 31. 労働組合・運動論

特集 挑戦ケアワークドライバー	協同の発見	96	00.5
新たな仕事おこし メディスのとりくみ(河内則夫)	自交総連大分のケアワークドライバー運動(高野修)		
いま 労働組合運動は問われている	柳生賢一 月刊国際労働運動	344	00.6
リストラ・規制緩和攻勢と労働組合の役割	西谷 敏 月刊全労連	42	00.7
特集 第六回経済連労組交流会から	月刊労農のなかま	37-6	00.6
企業再編「合理化」と労働者の権利(講演)(山川 豊)			
経済連の組織再編動向と労働組合の課題(老田弘道)			
従来型の運動だけでは組合も存在して行けない時代だ。(インタビュー)			
奥山喜代司 インタビュアー:中島圭子	自治労通信	673	00.6
日本の労働組合の機能と構造 どこまで変化したか、課題は何か。(報告)			
	井上定彦 連合総研レポートD I O	140	00.6
雇用をめぐる権利の動向	中野麻美 労働運動研究	369	00.7
私たちの政策,組織,そして,争議,大衆運動の展望を語ります			
小谷野毅 平賀健一郎 鳥井一平 嘉山将夫	労働情報	552	00.6.1
* 労働組合よっしゃりしろ	久谷與四郎監修 日本リーダーズ協会	B6.272	00.11

## 32. ナショナルセンター

雇用の現状と地方都市行政・連合地域組織の役割について	山本 功 月刊国際労働運動	344	00.6
ワークシェアリング論議の危険	労働運動	424	00.3
* 労働を中心とする福祉型社会をめざして	鷲尾悦也述 日本労働研究機構編 教育文化協会	B5.47	01.3

## 33. 地域別・産業別共闘

個人加盟労組結成に向けて努力	屋代 眞 労働運動	424	00.3
----------------	-----------	-----	------

## 34. 単産,単組

船員のいのちを守る「無線医療助言システム」	全日本海員組合総合政策部 海員	52-6	00.6
新しい世紀・改革と力	坂田晋作 建交労雑誌版 理論集	3	00.初夏
特集 全水道第23回労働運動研究全国集会	全水道	63	99.7
「公正な査定」が労働者にとって重要 査定雇用の差別を許さない原則を(遠藤公嗣)			
地方分権時代に対応する地方公営企業あり方と労働者の社会的責務を職場実態から検証し,反行革・反合理化闘争の前進を期す(芹沢錦一)			
いま,そこにある危機と激動期のリーダーシップ	大松明則 全郵政ジャーナル	307	00.6
たたかって歴史と力を明日につなぐ(シンポジウム)			
パネラー:上條貞夫 押尾直志 金山幸晴			
司 会:加藤 寛 エールに込めて:瀧 徹次	損保調査時報	341	00.4
中小企業との対話・共同が前進し始める	労働運動	424	00.3
* らくだのハンドブック 非常勤嘱託職員版 第2版			
	ユニオンらくだ(京都自治体関連労働者自立組合)	A4.68	00.11
* 電機連合第15回技術者フォーラム報告書	電機連合	A4.103	94.12

## 35. 団体交渉,労働協約

個別労使紛争解決システムをめぐる動向と課題	寺間誠治 月刊全労連	42	00.7
ドイツにおける事業所レベルの利益代表制	大重光太郎 労働社会学研究	2	00.6

## 36. 賃金闘争(含 生活改善闘争)

「看護婦最賃」の確立をめざして	日本医労連賃金専門委員会 医療労働	419	00.3
-----------------	-------------------	-----	------

今季労使交渉と労使関係(1)	成瀬健生	関西経協	54-5	00.5
今季労使交渉と労使関係(2)	成瀬健生	関西経協	54-6	00.6
人事院の調整手当改悪阻止へ全力で奮闘しよう	吉良多喜夫	季刊自治労連	83	00.夏季
特集 賃上げと雇用の動向		月刊人事労務	133	00.3
2000年春季賃金交渉の環境と展望(1)(楠田 丘)				
鉄鋼労連の2000年春闘への取り組み(瀬川信行)				
自社賃金の診断と高すぎ・低すぎ賃金の是正の仕方(2)(久保淳志)他				
21世紀につなぐ節目の2000年春闘をたたかって(座談会)				
坂内三夫 今井一雄 坂田晋作 生熊茂実 司会:寺間誠治		月刊全労連	41	00.6
危機に瀕する春闘方式と政治決戦	山田行雄	月刊全労連	41	00.6
特集 底上げ・2000年春闘の前進		月刊全労連	42	00.7
賃上げ回答前に最賃回答を求めた2000年春闘(大原つくる)				
5労組共同・集団交渉を軸に統一労働条件確立,経営環境改善を追求(岡元貞道)他				
特集 職場・地域からの春闘総括		月刊労働組合	412	00.6
経営の論理に屈服せず(陸川知威)「逆流春闘」から何を学ぶか(笠井裕明)				
特集 2000年春闘総括		社会主義	448	00.6
二〇〇〇年春闘結果と労働運動の課題(善明建一)企業の枠を越えた賃金体系の確立へ(平地一郎)				
成果主義賃金導入の動向とその狙い(松永裕方)他				
変化への挑戦ミレニウム春闘	牧野喜蔵	全郵政ジャーナル	307	00.6
2000年春闘の焦点	稲葉康生	賃金実務	852	00.2.15
特集 2000年春季賃金交渉のまとめ		賃金実務	861	00.7.1
2000年春闘のまとめ(稲葉康生)60歳以降の賃金をどう設定するか(土屋 彰)				
2000年春季労使交渉の経緯と今後の課題(対談)	小井土有治 荒川春 郵便局経営		2-6	00.6
2000年春闘の総括と今後の課題	山路憲夫 労使の焦点		220	00.5
労働債権の差押手続きの申立代理人に労働組合役員を認めよ	逢見直人 労働レーダー		24-6	00.6
37. 労働時間闘争				
労働時間の法的規制実現で人間らしい労働の確立を(報告)	小原美佐子	月刊全労連	41	00.6
38. 合理化・雇用対策				
リストラ「合理化」複合法制と労働者の権利闘争	坂本 修	金属労働研究	45	00.5
企業の組織・事業再編下による21世紀型合理化としてのM&A	永山利和	月刊労農のなかま	37-5	00.5
日産「リバイバルプラン」による「合理化」とのたたかい	熊谷金道	国公労調査時報	450	00.6
職場も地域も変わりはじめたぞ!(座談会)	新日鉄名古屋	労働運動	424	00.3
「人間への信頼」があったからこそ	三沢厚実	労働運動	424	00.3
*英国の電気事業民営化による雇用・労働条件への影響と労働組合の対応				
	電力総連産業政策局編	全国電力関連産業労働組合総連合	A4.110	96.3
39. 権利闘争				
重大局面迎えた国鉄闘争	大谷常夫	科学的社会主義	27	00.7
傷病回復後の復職拒否・休職期間満了による退職扱いは無効	大賀浩一	季刊労働者の権利	234	00.Spring
男女差別の格付けに感謝料を認める	渡辺和恵	季刊労働者の権利	234	00.Spring
東京地裁で,工場内配転につき,逆転勝訴	本上博丈	季刊労働者の権利	234	00.Spring
日本航空客室乗務員「昇格男女差別・機会均等」調停の報告	大森夏織	季刊労働者の権利	234	00.Spring
復職者への退職強要を認定	徳井義幸	季刊労働者の権利	234	00.Spring
特集 第二回医療・福祉権利問題研究討論集会報告特集	中	月刊権利闘争	283	00.5
二〇〇四年度,独立行政法人化へ地ならし進む国立病院-南九州中央病院の現場から(松永三重子)				
前橋赤十字病院の看護現場から(高橋信江)「企業倒産と働く者の権利」(上)(福田 徹)				
末端未組織だったらクビでよいのか!	板井節子	月刊権利闘争	283	00.5
特集 第二回医療・福祉権利問題研究討論集会報告特集	下	月刊権利闘争	284	00.6
知的障害者施設の現場から(庄司正博)病院改築を理由とした病床削減合理化と闘う(柴山 章)				

全勤労採用差別事件の不当判決をのりこえ国鉄闘争の勝利をめざす運動の再構築を	加藤健次	月刊全労連	41	00.6
特集 雇用・賃金差別を許さない!		月刊労農のなかま	37-5	00.5
すみれ会の裁判闘争の意義と重要性について(中野麻美)				
なぜ私たちは裁判にたちあがったのか(本間ひろみ)				
国鉄闘争の勝利をめざす運動の再構築を	加藤健次	建交労雑誌版 理論集	3	00.初夏
全税関東京支部賃金差別裁判東京高裁判決の勝利めざして	竹澤哲夫	国公労調査時報	450	00.6
郵政職場荒廃の根源を撃つ	笹山久三	社会評論	122	00.7
チェックオフの正当性とその再点検	ゼンセン同盟政策局	ゼンセンコンパス	50-7	00.7
2000年経営戦略「最強の競争力」掲げリストラ推進	林 房次	労働運動	424	00.3
一〇四七名解雇者を切り捨てた与党・社民党「合意」では国鉄闘争は終われない	小野寺忠昭	労働情報	554	00.7.1
人権回復か、屈服か	石山 耕	労働情報	554	00.7.1
丸子警報器事件に関する補充意見書	浅倉むつ子	労働法律旬報	1473	00.2.上旬
丸子警報器・臨時社員賃金差別訴訟で和解成立	岩下智和, 今野久子, 滝澤修一, 松村文夫	労働法律旬報	1473	00.2.上旬
* 超高齢化社会の仕事と暮らし 内田勝久述 日本労働研究機構編		教育文化協会	B5.84	01.1
40. 政策制度闘争				
労働法制全面改悪の総仕上げとしての労働者派遣法改悪～労組法改悪攻撃と対決した取り組みの強化を!	水越 隆	全水道	62	99.1
* 豊かさを実感できる明るい高度福祉社会を		全日本民間労働組合連合会	A4.227	89.11
* 21世紀への年金改革構想 改訂版		全日本自治団体労働組合	A4.79	96.12
42. 労働者福祉運動				
労働者協同組合における労働主体の形成	丸山美貴子	生涯学習研究年報(北海道大)	7	00.3
環境共生社会と協同組合およびボランティア	大森正之	協同組合研究	19-3	00.春季
特集 労協法制定をいまこそ		協同の発見	96	00.5
“協同労働”を通じたコミュニティ・ビジネス=市民事業の促進を(菅野正純)				
労働者協同組合法(第一次案の改定素案)(協同総合研究所・労協法作業部会)				
三つの労働者所有企業の活動事例	ロバート C. マーシャル	翻訳: 手島繁一 協同の発見	97	00.6
介護する人, される人のために	加藤裕二, 河原四良	月刊いのちと健康	404	00.6
介護・国保の減免をめぐる大阪のとりくみ	松岡恒雄	月刊生活と健康	829	00.6
労働主体の形成過程における協同労働と学習	丸山美貴子	北海道大学大学院教育学研究科紀要	81	00.6
43. 労働組合と政治				
自民党, 組合費チェックオフ規制へ	神宮寺章生	改革者	479	00.6
* ビルマ軍事政権を孤立させる労働組合のキャンペーンにあなたも参加してください!		国際運輸労連	A5.6	01.
44. 労働組合と社会問題, 社会運動				
非営利・協同運動の現代的構図	内山哲朗	協同の発見	96	00.5
特集 勤労者のボランティア活動		労働時報(労働省)	53-4	00.4
勤労者の社会活動に対する支援システムの検討について(講演)(高木郁朗)				
勤労者生活の充実に向けた社会活動参加への支援システムの在り方を考える				
(パネルディスカッション) 牛山久仁彦 田中尚輝 吉永鴻一 森山泰広 コーディネーター: 高木郁朗)				
* 新たな都市政策に向けて		連合神奈川	A4.69	00.
* 連合兵庫・兵庫県民意識調査		兵庫県総合生活研究センター	A4.184	94.8
* 新しい世紀の創造		兵庫県総合生活研究センター, 連合兵庫	A4.17	
経営労務				
50. 総記				
今次労使交渉に対する経営側の基本姿勢	紀陸 孝	関西経協	54-2	00.2



二〇〇〇年春季労使交渉の回顧	小柳勝二郎	経営者	54-6	00.6
何をねらう奥田・日経連	牧野富夫	労働運動	424	00.3
特集 日経連「労連研究報告」批判		労働経済旬報	1647	99.2.上旬
日経連「労問研報告」に関連する連合、産別組合等の見解(金属労協・JAM・電機連合)笹森清 服部光朗)				
方向性は評価できるが、各論に問題あり(中沢孝夫)				

51. 人事・労務管理

Why do we regard the Nissan's restructuring problem as vital for us?

	Kanemichi Kumagai	Rodo-Soken Journal	29	00.1
特集 ワークシェアリングを考える		エルダー	22-7	00.7
雇用機会創出をめざす「ワークシェアリング」の考え方(社会経済生産性本部ワークシェアリング研究会)				
ワークシェアリングのあり方(関西経営者協会ワークシェアリング検討委員会)				
特集 東京都の教員人事考課制度		季刊教育法	124	00.6
外国の教員人事考課はどうなっているのか(中田康彦)				
東京都における教員への人事考課制度の導入をめぐる(児玉洋介)				
教員人事考課制度のなにかが問題か(勝野正章)				
女性の真の戦力化に必要な条件(1)	飯島研一	月刊経営労務	539	00.5
女性の真の戦力化に必要な条件(2)	飯島研一	月刊経営労務	541	00.6
アメリカの賃金制度と評価制度(7~11)	笹島芳雄	月刊人事労務	133-137	00.3-00.7
東京都の新勤評「教員の人事考課制度」を批判する	新塚義昭	国公労調査時報	451	00.7
国際化時代を乗り切る目標管理型人事制度(6)	森 英一	旬刊労働実務	1303	00.6.21
特集 自立する「仕事人」が伸びる組織		人材教育	139	00.7
日本の能力主義の限界(太田 肇)個人優先の人事制度が社員と会社を蘇生する(森永卓郎)				
キャリアは社員が自らつくる。市場原理を導入した人材登用制度(川合昭子)他				
上司と部下関係の国際比較研究	佐久間賢	中央大学政策文化総合研究所年報	3	00.
特集 企業バリューマネジメント		賃金実務	859	00.6.1
住友商事の「SC VALUES」の導入と評価制度への展開(藤 浩哉)				
日立製作所の「HITACHI VALUE」に基づいた管理職の新人選・処遇制度(賃金実務編集部)				
“組織改革と人事・賃金制度”(5)	居樹伸雄	労使の焦点	220	00.5
特集 日本型ワークシェアリングを考える		欧州の実例、労使の見解、提言からその可能性を探る		
		労政時報	3450	00.6.30
ワークシェアリングとは何か(脇坂 明)日本におけるワークシェアリングの現状(荻野 登)				
人事管理の現状とこれからの方向性	鈴木敦子	労政時報	3451	00.7.7
新日本の経営と複線的雇用・人事制度	林 房次	労働運動	428	00.7
特集 日産自動車リストラの特徴と政策課題		労働総研クォーターリー	39	00.夏季
ルノーの「最適地購入」と系列解体・下請つぶし(金田 豊)				
日産リバイバルプランと政府・企業の責任(西村直樹)JMIU日産自動車支部の35年(坂ノ下征稔)他				
なぜ、日産リストラ問題を重視しているのか	熊谷金道	労働総研ニュース	121	00.4
土田道夫著『労務指揮権の現代的展開』(書評)	和田 肇	労働法律旬報	1479	00.5.上旬
*コンピテンシー人事	太田隆次	経営書院	A5.201	00.12
*業績主義時代の人事管理と教育訓練投資に関する調査		日本労働研究機構	B5.158	00.8
*日本の人事制度の現状と課題 2001年版	生産性研究所編	社会経済生産性本部	B5.145	01.1

52. 賃金管理

特集 業績連動型賞与と評価 2		月刊人事労務	136	00.6
業績連動型賞与と目標管理・目標評価・業績評価(2)(久保淳志)				
日本工営(株)の事業部門別業績連動型賞与制度(徳舛明一)他				
総務・人事部員のための総額人件費管理	中村壽伸	旬刊労働実務	1302	00.6.11
総務・人事部員のための総額人件費管理(承前)	中村壽伸	旬刊労働実務	1303	00.6.21
高砂建設男女賃金差別の実像	宮成友恵	女性労働研究	38	00.7
賞与の業績化割合と算定方式のあり方	平井謙一	賃金事情	2365	00.6.5

中小・中堅企業における戦略的人事・賃金制度(10)	竹内 裕	賃金実務	852	00.2.15
特集 マーケットバリューマネジメント		賃金実務	859	00.6.1
日本アイ・ピー・エムの「市場準拠型賃金制度」(平林久典)市場賃金を考える(1)(藤田 聡)				
市場賃金を考える(2)	藤田 聡	賃金実務	861	00.7.1
成果給の矛盾(上)	吉村宗夫	賃金と社会保障	1274	00.5月下旬号
成果主義への過剰適応と活性化システムの構築	伊藤 実	労働法学研究会報	2199	00.5.20
54. 定年制, 退職金, 企業年金				
退職金・企業年金制度の課題	林田安弘	関西経協	54-2	00.2
特集 雇用延長と退職金・年金( )		月刊人事労務	137	00.7
東京ガス(株)のセカンドライフコース制度(作田龍昭)				
成果主義時代に即応した退職金のあり方(久保誠)雇用延長と人事諸制度の変革(小柳勝二郎)他				
確定拠出年金の導入と課題(上)	新開保彦	健康保険	54-5	00.5
確定拠出年金の導入と課題(下)	新開保彦	健康保険	54-6	00.6
年金制度を変える退職給付会計(4)	熊谷重勝	社会主義	449	00.7
退職金・年金, 定年制の実務課題	鍋田周一	賃金事情	2366	00.6.20
六五歳選択定年制	黒江義則	労働法学研究会報	2203	00.7.1
401k時代における退職金の実態と今後の課題	谷田部光一	労務事情	965	00.6.1
55. 福利厚生				
諸外国の休暇制度と日本(上)	野田 進	世界の労働	50-6	00.6
* 中小企業勤労者福祉サービスセンターの役割と福祉について				
	藤田至孝	全国勤労者福祉振興協会	A5.28	95.11
56. 教育・訓練				
特集 リーダーシップを決めるヒューマンパワー		産業訓練	537	00.6
リーダーシップに必要な“ヒューマンパワー”と“専門能力”(倉島佑次)				
リーダーシップとコミュニケーション能力(小池克彦)リーダーによる新しい基軸づくり(古川久敬)				
知的障害者の危険予知訓練の効果	藤原桂, 谷素子	障害者職業総合センター研究紀要	7	98.12
養護学校生への職業リハビリテーションにおける移行サービスとサポートネットワークの機能	勿田文記, 木村彰孝	障害者職業総合センター研究紀要	8	99.11
ビジネス・キャリア制度の推進				
労働省職業能力開発局能力開発課・中央職業能力開発協会		職業能力開発ジャーナル	42-6	00.6
58. 安全衛生管理				
シリカおよび石炭粉じんへのヒトに対するガン原性リスク	細田 裕	労働科学	76-2	00.2
59. 国際経営労務				
* 企業の国際化と社会的責任		機械振興協会経済研究所	B5.110	92.3
労働政策				
60. 総 記				
平成一二年年度の労働政策		かけはし	14-6	00.6
会社分割法制の新設について 審議方法及び労働者保護等のために最低限盛り込むべき事項に関する意見書				
	日本労働弁護団	労働法律旬報	1473	00.2.上旬
* 未来を拓く 女性労働協会女性と仕事の未来館編	労働省女性局監修	女性労働協会	A4.135	00.12
61. 雇用政策				
国家的リストラ複合法制の構造と狙い	坂本 修	国公労調査時報	450	00.6
「ミスマッチ解消を重点とする緊急雇用対策」の策定について				
労働省職業能力開発局能力開発課・労働省職業安定局雇用政策課		職業能力開発ジャーナル	42-7	00.7
政府, 「ミスマッチ解消を重点とする緊急雇用対策」を策定		日労研資料	1238	00.6
* 神奈川県雇用基本計画 第9次		神奈川県	A4.69	00.3
62. 賃金政策				
* 未払賃金の立替払制度早わかり	労働省労働基準局賃金時間部編	労働調査会	A5.190	00.12

## 63. 労働基準政策

- \* 21世紀にむけた労働基準の総合的研究 労働問題リサーチセンター / 国際労働法フォーラム A4.95 00.6  
 \* 労働基準法改正に関する国会審議 日本労働組合総連合会 A4.184 98.7

## 65. 社会保障, 社会福祉

- 特集 新世紀の社会福祉とは “福祉経営” 創造の視点 月刊福祉 83-9 00.7  
 新しい地域福祉の時代と“社協経営”の方向(小林良守)福祉NPOのマネジメント戦略(平野隆之)  
 コムスの福祉経営戦略(青山 敏)
- 特集 社会保障給付費の国際比較研究 海外社会保障研究 130 00.Spring  
 社会保障給付費の国際比較データの見方と分析(勝又幸子)  
 社会保障費からみたアメリカ社会保障の特徴と社会保障国際比較研究の意義と課題(大西秀典)他
- 介護保険から高齢者医療制度の改革へ 山崎泰彦 介護保険情報 1-3 00.6
- 特集 社会福祉法人の会計基準 経営責任の明確化に向けて 介護保険情報 1-4 00.7  
 情報開示で選ばれる施設へ(インタビュー)(長 隆)  
 介護保険制度下における社会福祉法人の会計(鈴木稔巳)
- リーダーチャートで採点するあなたの町の介護保険 高橋信幸 介護保険情報 1-4 00.7
- 特集 高齢者世帯における社会保障の機能 季刊社会保障研究 35-4 00.Spring  
 ライフサイクルからみた高齢期の社会保障(増田雅暢 小島克久)高齢者の経済的状況(府川哲夫)  
 在職老齢年金制度と高齢者の就業行動(岩本康志)引退過程における賃金低下と所得保障(山田篤裕)他
- 特集 家族と年金 季刊年金と雇用 19-1 00.5  
 家族, 家計, 生活設計(降矢憲一)公的年金・課税における個人・家族の扱い(牛丸 聡)
- 特集 介護保険・保障制度と労働者の地位 季刊労働法 193 00.6  
 介護保険制度の概要(増田雅暢)社会保障構造の改革として有効な制度の展望(河越重任)  
 ドイツの介護保障制度とその課題(本沢巳代子)スウェーデンにおける介護保障制度(1)(永瀬典子)他
- 介護保険「見切り発車」, その問題点をつく(一) 福田 徹 月刊権利闘争 283 00.5  
 介護保険の見切り発車を批判する(二) 福田 徹 月刊権利闘争 284 00.6  
 介護の社会化実現する福祉制度の改革へ 荒川 薫 月刊先駆 737 00.6
- 特集 4月診療報酬改定は何をもたらすか 月刊保団連 663 00.6  
 今次診療報酬改定と第4次医療法改定(久保佐世)今次改定とこれからの開業医医療(松本和美)  
 2000年診療報酬改定をどう評価するか(小島 靖)
- スタートした介護保険 その問題点と改善の課題 相野谷安孝 月刊労農のなかま 37-5 00.5  
 介護保険のねらいと現実 三浦文夫 健康保険 54-6 00.6  
 健康日本21と健保組合(上) 青山英康 健康保険 54-6 00.6  
 健康日本21の概要と今後の進め方 佐柳 進 健康保険 54-6 00.6
- 「保健・医療・福祉複合体」とIDSの日米比較研究(上) 二木 立 社会保険旬報 2062 00.6.1  
 「保健・医療・福祉複合体」とIDSの日米比較研究(下) 二木 立 社会保険旬報 2063 00.6.11
- 介護保険者の適正圏域 松田晋哉 社会保険旬報 2065 00.6.21
- 政府・財界による社会保障改革の衝動とほころび 相澤與一 社会保障 370 00.初夏  
 特集 始まった介護保険 社会保障 370 00.初夏  
 「長生きするもんじゃないな!」介護保険実施で全国にわき起こる悲鳴(相野谷安孝)  
 介護保険の制度化に関する自治体の動向(今井文夫)
- 介護保険法の施行と「見直し」への課題 坂本重雄 週刊社会保障 2087 00.5.22  
 公的年金改革と定年破壊 清家 篤 週刊社会保障 2088 00.5.29  
 安定した社会保障制度へのアプローチ 久塚純一 週刊社会保障 2090 00.6.12  
 報酬比例の社会保障制度をめぐる諸問題(上) 粥川正敏 週刊社会保障 2091 00.6.19  
 老人医療制度の見直しで財源や介護との関係が課題 糸氏英吉 週刊社会保障 2091 00.6.19  
 厚生年金の改正ポイント 高原宣昭 賃金事情 2365 00.6.5
- 特別養護老人ホーム入居者のホーム生活への肯定的感情とその維持にかかわる要因  
 小倉啓子 日本女子大学大学院人間社会研究科紀要 6 00.3
- 介護保険を利用して仕事と介護を両立 服部万里子 労済だより 277 00.7/8

* 検証介護保険	伊藤周平	青木書店	A5.284	00.10
* 介護施設の最新経営・労務管理のすべて	西村和人	日本法令	A5.273	00.12
* 介護労働市場の実態と将来展望に関する調査研究報告書		兵庫県長寿社会研究機構	A4.91	00.3
* 検証！スタートした介護保険		全労済協会	A4.108	01.2
* 福祉社会の最前線	山手 茂監修	相川書房	A5.295	01.4
* スウェーデンにおける高齢者ケアの改革と実践	生活福祉研究機構編	中央法規出版	A5.299	96.10
<b>66. 労働法</b>				
ヨーロッパの統合と労働の法理論 ( )	初山錚吾	朝日法学論集	23	99.5
労基法が変わるとどうなるか	三井 洋 本田民雄 司会：斎藤茂男	季刊女も男も	1	98.春
雇用の変容と労働関連の法整備	古郡鞆子	季刊家計経済研究	42	99.春
特集 第12回労働法講座 2000年3月4日		季刊労働者の権利	234	00.Spring
企業再編・リストラといかにたたかうか(水口洋介) 精神障害・自殺と労働組合の取り組み(岡村親宜)				
賃金・昇格差別の救済法理	西谷 敏	季刊労働法	193	00.6
テレワークの法的性質と法的保護のあり方	長坂俊成	季刊労働法	193	00.6
ドイツ解雇制限法の現状 ヴォルフガング・ドイブラー 訳：西谷敏		季刊労働法	193	00.6
労働者に対するセクシュアル・ハラスメントについての一考察(下)	柏崎洋美	季刊労働法	193	00.6
「広げよう働く人々と市民の仕事おこし」「乗り越えよう大量失業時代」				
大内 力 荒木昭夫 石見 尚 菅野正純 鍛谷宗孝		協同の発見	97	00.6
労働基準法38条運用上の問題点とその対応について	小林鉄司	月刊経営労務	541	00.6
近年の労働法制改悪の意味するもの	北川鑑一	社会主義	449	00.7
労組にとっての実務問題としての民事再生法	古川景一	ゼンセンコンパス	50-7	00.7
労働組合法はどうか(講苑)	道幸哲也	中央労働時報	968	00.5
成立した年金改革法と識者の賛否	公文昭夫	賃金と社会保障	1275	00.6月上旬
改正派遣法をどう使うか	中野麻美	ひろば	1085	00.5.15
混合組合の法的地位について	大沼邦博	労働法律旬報	1479	00.5.月上旬
* 企業の組織変更 荒木尚志述 日本労働研究機構編		教育文化協会	B5.59	01.2
* 雇用システムと労働条件変更法理 荒木尚志		有斐閣	A5.332	01.2
<b>67. 労働判例</b>				
硝酸曝露による肺機能障害の業務起因性を認めた事例	小山達也	安全センター情報	266	00.6
一ヵ月変形労働時間制の判決について	中村儀広	科学的社会主義	27	00.7
65歳以上の嘱託管理員の雇い止めが有効とされた例	鈴木利治	月刊経営労務	539	00.5
勤務態度不良を理由とする論旨解雇は有効であるとして退職金支払請求を棄却した例	秋山昭八	月刊経営労務	541	00.6
最新労災判例の詳解	山口浩一郎	月刊ろうさい	51-5	00.5
最近の労働判例について(上)(講苑)	野田 進	中央労働時報	969	00.6
変形労働時間制の勤務指定変更で割増賃金支払いを就規に労働者が予見可能な具体的事由の特定を		労経ファイル	292	00.6.1
過労自殺は会社に賠償責任あり		労政時報	3449	00.6.23
賞与支給の出勤率要件における産後休業と育児時間の欠勤扱いの可否	小畑史子	労働基準	52-6	00.6
夫婦共働者の子の保育事情と配転の効力	山崎 隆	労働判例	779	00.6.1
歩合給と割増賃金		労働法学研究会報	2199	00.5.20
過労自殺と使用者責任		労働法学研究会報	2200	00.6.1
「過労自殺」、健康・時間管理責任	岩出 誠	労働法学研究会報	2201	00.6.10
「有期契約」社員の雇い止めと管理者の言動をめぐって	佐藤博史	労働法学研究会報	2202	00.6.20
整理解雇と人選基準		労働法学研究会報	2203	00.7.1
出向・転籍に関する最近の裁判例の動向	古川陽二	労働法律旬報	1476	00.3.下旬
手続違反の違法解雇における不正解雇申立機会の喪失と損害賠償	有田謙司	労働法律旬報	1476	00.3.下旬
配転の不当労働行為性の判定視角	道幸哲也	労働法律旬報	1478	00.4.下旬

従業員引抜き禁止特約と従業員確保の保護法益性 出向労働者の解雇と出向元使用者の未払賃金・解雇予告手当支払義務	石橋 洋	労働法律旬報	1479	00.5.上旬
	三井正信	労働法律旬報	1479	00.5.上旬
起訴休職の合理性と賃金請求権	勝亦啓文	労働法律旬報	1480	00.5.下旬
統計資料と男女差別の立証	宮地光子	労働法律旬報	1480	00.5.下旬

68. 労働委員会

労働委員会の救済機能の回復をめざして	磯崎弘幸	月刊全労連	41	00.6
東京都「雇用関係調整委員会」について	成川美恵子	中央労働時報	968	00.5
審査迅速化への一側面	本郷隆夫	中央労働時報	969	00.6
混合組合の地労委申立適格	森 博行	労働法律旬報	1479	00.5.上旬
*鳥取県地方労働委員会年報 平成12年度		鳥取県地方労働委員会	A4.59	01.3
*山梨県地方労働委員会年報 平成12年版		山梨県地方労働委員会事務局	A5.49	01.3

世界労働

71. アジア

インドにおける労働者協同組合 雑感、在タイ11年	ヤシャヴァンタ・ドングレ 浜田道雄	翻訳：菅野正純 世界の労働	協同の発見 50-5	97 00.5
インドネシアの社会労働事情	塚本勝利	世界の労働	50-6	00.6

73. ヨーロッパ

多国籍企業の欧州労使協議会	ロジェ・ブランパン	国際労働インフォメーション	23	00.2
フランスの国家公務員労働者の「暑い春」の闘争	宮前忠夫	国公労調査時報	450	00.6
イギリスの解雇規制の概要	田口晶子	世界の労働	50-6	00.6
ヨーロッパの解雇制限法制とその特徴	宮前忠夫	東京地評	137	00.2
ドイツにおけるリストラ・解雇規制 ハイナー・ヘーゼラー ウルリッヒ・ミュッケンベルガー		労働総研クォーターリー	39	00.夏季

75. 北アメリカ

米国における派遣労働者の実態(1)	齊藤 博	関東学園大学経済学紀要	27-1	00.3
アメリカ401(k)をめぐる状況について(報告)	村杉直美	世界の労働	50-5	00.5
アメリカの労働市場の現況と政策論議の焦点(報告)	中田喜文	連合総研レポートD I O	140	00.6
*北米の金属関係労組		全日本金属産業労働組合協議会	B5.67	92.10

78. 国際労働運動

「21世紀の労働組合主義」をめざして	田中良一	改革者	480	00.7
社会正義のグローバル化をめざす	荻野 登	月刊労働組合	412	00.6
21世紀の国際労働組合運動の姿を討議(報告)	渡邊ひな子	世界の労働	50-6	00.6
I C F T U第17回世界大会の討議とこれからの運動	中嶋 滋	連合国際レポート	3	00.6
労働組合の国際連帯とその今日的課題	佐藤正之	労働運動	428	00.7

79. I L O, 国際機関

厚生省当局による全医労への不当労働行為に対するI L O勧告の意味するもの	牛久保秀樹	国公労調査時報	451	00.7
課題が多く残された、今理事会(座談会)岩田喜美枝	鈴木俊男 伊藤祐禎			
	司会：工藤幸男	世界の労働	50-5	00.5
I L Oの役割と8つの基本人権条約(1)	伊藤祐禎	造船重機	132	00.3
I L Oの役割と8つの基本人権条約(2)	伊藤祐禎	造船重機	133	00.5
*国連社会サミットへのI L Oの提言	I L O労働関係事務所/日本労働組合総連合会		A4.72	95.1
*児童労働	初岡昌一郎監訳	国際労働財団	A4.100	97.8

歴史

80. 総記

*戦間期日本の社会研究センター	高橋彦博	柏書房	A5.352	01.2
-----------------	------	-----	--------	------

- \*横山源之助全集 第1巻 横山源之助 社会思想社 A5.519 01.3  
 \*足尾町における歴史遺産と文化遺産に関する調査研究 連合栃木総合生活研究所 A4.49 96.4
81. 労働史(日本)――
- 草倉銅山と交際飯場 佐藤一男 金属鉱山研究 77 00.4  
 日本の管理史にみる温情主義 山下幸夫 商学論纂(中央大) 41-4 00.3  
 明治期紡績女工をめぐる諸問題 岡本幸雄 女性史・女性学ノート 5 98.3  
 日本の賃金思想とその背景 山下幸夫 総合政策研究(中央大) 5 00.3  
 生活史調査の意味論 有末 賢 法学研究(慶応義塾大) 73-5 00.5  
 港湾労働者から見た兵庫と神戸の近代 布川 弘 歴史と神戸 220 00.6  
 日本の人権裁判史, 労働裁判史に残る歴史的判決 川人 博 労働法律旬報 1479 00.5.上旬  
 足尾に残る銅山唄(講演) 茂木真弘 わたらせ川 5 99.12  
 \*岐阜県女性史 まん真ん中の女たち 岐阜県女性史編集委員会編著 岐阜県 B5.591 00.10  
 \*光と風, 野につむぐ一連譜 新潟女性史クラブ編著 野島出版 A5.452 01.2  
 \*朝鮮人強制連行調査の記録 中国編 朝鮮人強制連行真相調査団編著 柏書房 A5.430 01.3
82. 労働史(外国・国際)――
- ジェイムス・イー・ウッド著 ニュージャージー・バターソンの広幅絹織物工業労働者の歴史(5) 永瀬順弘訳 桜美林エコノミックス 42 99.12  
 ジェイムス・イー・ウッド著 ニュージャージー・バターソンの広幅絹織物工業労働者の歴史(6) 永瀬順弘訳 桜美林エコノミックス 43 00.3  
 \*クラフト的規制の起源 小野塚知二 有斐閣 A5.429 01.2
83. 労働・社会政策史(日本)――
- 友愛会の歴史的意義と社会事業(3) 布川 弘 月刊部落問題 282 00.6
84. 労働・社会政策史(外国・国際)――
- シドニィ&ペアトリスウェブ著『英国救貧法史 第2部 最近の100年間』  
 「現代産業の疾患としての失業」第2回 柏野健三 岡山商大論叢 36-1 00.5
85. 労働運動史(日本)――
- The transformation of the vision of labor unionism Suzuki Akira Social Science Japan Journal 13-1 00.4  
 山本政弘 77年協会規制を前後して 山本政弘 聞き手:佐藤保 社会主義 448 00.6  
 小林誠 都職労, 都労連と協会 小林誠 聞き手:山崎耕一郎 社会主義 449 00.7  
 \*組合創立40周年記念誌 J A M東京東洋亜鉛労働組合 A4.41 00.9  
 \*あゆみ 全金同盟東洋亜鉛支部 B5.139 80.4  
 \*労働組合も起業家精神を 川喜多喬 全国勤労者福祉振興協会 A5.47 95.12  
 \*写真が語る恩給職組 恩給局職員組合 21x44.64 95.2  
 \*30周年記念誌 情報労連東京地方協議会 A4.24 96.9  
 \*継続は力なり 群馬大学教職員組合 B5.96 98.
86. 労働運動史(外国・国際)――
- L'Organizzazione Industrialeからみた労使関係(1968 - 70年) 河野 穰 桜美林エコノミックス 42 99.12  
 60年代末から70年代初頭における反乱型紛争と労使関係の変化 河野 穰 桜美林エコノミックス 43 00.3  
 ドイツ失業者運動 木戸 哲 労働情報 552 00.6.1  
 米国における労働運動の危機と新しい国内・外交政策の模索(上)  
 マーチン・ハルペルン 訳:戸塚秀夫 労働法律旬報 1473 00.2.上旬  
 日本からアメリカ労働運動を見る目 山崎精一 労働法律旬報 1480 00.5.下旬
87. 社会主義運動史(日本)――
- 日本社会主義者とコミンテルン・アムステルダム・サブビューローとの通信, 1919 - 1920年 山内昭人 大原社会問題研究所雑誌 499 00.6  
 讚美歌と革命歌 わたしの見たこと, 会ったひと 大竹一燈子 沓谷だより 16 00.3  
 大正デモクラシーの光と影(下) 後藤正人 月刊部落問題 282 00.6  
 思い出あれこれ(九) 向坂ゆき 社会主義 448 00.6  
 思い出あれこれ(一〇) 向坂ゆき 聞き手:小島恒久 社会主義 449 00.7

労農派とは(1)	小島恒久	社会主義	448	00.6
労農派とは(2)	小島恒久	社会主義	449	00.7
<b>88. 社会主義運動史(外国・国際)</b>				
市民社会の民主制のあり方に関する一考察	金子光一	淑徳大学社会学部研究紀要	34	00.3
レーニンと『資本論』(34)	不破哲三	経済	58	00.7
レーニンと『資本論』(35)	不破哲三	経済	59	00.8
キューバ革命と協同組合の可能性	樋口篤三	月刊国際労働運動	344	00.6
ヨーロッパ左翼のジレンマ	片桐 薫	月刊国際労働運動	344	00.6
青年金日成の行動と世界観の変化	辛 珠柏	思想	912	00.6
満州抗日闘争の転換と金日成	水野直樹	思想	912	00.6
グローバル化と福祉国家改革の新戦略をめざして(上)		柴山健太郎 進歩と改革	583	00.7
* 前衛の蹉跌	渋谷 要	実践社	B6.222	00.10
* 検証日本社会党はなぜ敗北したか	水野 均	並木書房	B6.198	00.12
* 誤謬	生田あい	論創社	B6.273	01.2
<b>89. 諸社会運動史</b>				
再考横山源之助と米騒動	立花雄一	大原社会問題研究所雑誌	499	00.6
部落解放人民大会速記録	師岡佑行	京都部落史研究所紀要	12	00.6
21世紀に全生連は何をめざすか	島田 務	月刊生活と健康	830	00.7
部落問題と貧困	山城弘敬	こべる	88	00.7
日中戦争期、華中における日本人反戦活動	堀井弘一郎	歴史学研究	738	00.7
* 国民のための司法制度改革を		自由法書団	A4.50	00.12
* 柳瀬正夢展 愛媛県美術館編集	愛媛県美術館・福岡県立美術館・宮城県美術館		A4.263	00.
* 解放運動の再生	小森龍邦	明石書店	B6.160	01.1
* 釜ヶ崎赤軍兵士若宮正則物語	高幣真公	彩流社	B6.233	01.1
* 暗き時代の抵抗者たち	太田哲男編	同時代社	B6.269	01.1
* 「在日」を考える	尹 健次	平凡社	A6.357	01.1
* ザクセン農民解放運動史研究	松尾展成	岡山大学経済学部	A5.231	01.1
* 人形峠ウラン鉱害裁判	土井淑平, 小出裕章	批評社	B6.239	01.1
* ハンセン病と人権		福山市人権平和資料館	A4.121	01.1
* 部落問題・人権事典	部落解放・人権研究所編	解放出版社	24cm.1364	01.1
* 兵士たちの連合赤軍 新装版	植垣康博	彩流社	B6.395	01.2
* みんなの陪審裁判	東京弁護士会編	現代人文社	A5.158	01.2
* 連合赤軍27年目の証言	植垣康博著 宮崎学解説	彩流社	B6.291	01.3

I L O の 出 版 物  好 評 発 売 中



第89回 ILO総会報告書

Night Work of Women in Industry  
「工業における女性の夜業」

本年のILO総会における第3議題である女性の夜業条約(第4号、41号、89号及び議定書)に関する一般調査報告書。女性の夜業禁止に関する分析、各国の法律、夜業と均等待遇原則、条約批准の見通し等について報告する。

2001年刊 178pp. 2,250円



Youth unemployment and employment policy: A global perspective  
「若年失業と雇用政策: グローバルな視点から」

若年者の失業というタイムリーな問題について、特徴、原因と結果、対応する政策(労働市場情報のモニタリングと評価、最低賃金の効果、教育訓練制度、積極的労働市場政策)の重要性について掘り下げた考察を提供する。

N.O' Higgins 著 2001年刊 212pp. 2,750円

ご注文は下記へ

**ILO 東京支局**

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国際連合大学本部ビル8階

TEL.03-5467-2701 FAX.03-5467-2700

郵便振替 00140-2-19221番/三井住友銀行神宮前支店 普通口座3149206

OISR.ORGの窓 [ 1 ]

## 本誌を オンラインジャーナル化

創立80周年を記念して公式サイトに通称「大原デジタルライブラリー」が誕生し、サイトの名称も“OISR.ORG”(「オイサー・オルグ」と読みます)になりました。あれから2年。現在では次つぎに新企画が立ち上がっています。本コラムでは、その成果の一端を順次ご報告したいと思えます。

### 検索サービス

データベース系を強化しました。第一に、労働問題のネットワーク上での動向が一括把握できる「労働サイト全文検索」を独立させました。このためにサーバー2台態勢にしました。第二に「戦前期原資料インデックス」を新設しました。当研究所所蔵の原資料(不定形資料)の検索カード情報をデータベース化したものです。どのような資料群が所蔵されているかお手元で検索できます。ボタンをクリックするだけで、そのテーマに関するファイルやフォルダのリストが表示されるリストアップ版もご用意しました。なお、このようなデータベースを“OISR.ORG”では「インデックス」と呼んで、以後シリーズ化する予定です。

### デジタル復刻

「戦後特集」として再出発を期した1949年の第22集から1953年の第25集までの『日本労働年鑑』全文をテキストデータ化しました。この時期は、終戦後の独特の雰囲気の中で労働運動がおこなわれていた時代です。いわゆる55年体制以前の労働問題について考察するさいの貴重な資料群です。

また『日本労働年鑑』別巻として1960年代

中頃に編集刊行された、いわゆる「戦時年鑑」の全文もテキストデータ化しました。『太平洋戦争下の労働者状態』と『太平洋戦争下の労働運動』の2巻です。戦時中の生活実態と労働運動についての数少ない研究として評価の高かったものです。こちらについては図表もすべて復刻しました。

以上計6冊で3590ページあります。特定テーマで調べるさいは「OISR.ORG全文検索」をご利用ください。

また、1970年発行の『大原社会問題研究所五十年史』(非売品)全文も公開しました。当研究所の歴史を知るには不可欠の文献です。この企画では、オンデマンド出版システムを使って書籍としても復刻することになっています。

### 本誌をPDFで全文公開

2001年度から本誌のオンラインジャーナル化を開始します。法政大学出版局の印刷媒体の最新号にあわせて“OISR.ORG”でも公開します。こちらはPDFというファイル形式で小分けして公開します。プリントアウトに適した形式ですので、本誌レイアウトがそのまま再現できます。今回は最新号とともに2000年度発行のバックナンバーについても公開しました。というわけで、本誌はオンラインジャーナルになります。これにともないまして本誌定期購読者特典を強化しましたので、こちらもご利用ください。

### 戦後ポスター資料の公開準備開始

ご好評いただきました「OISR.ORG 20世紀ポスター展」と「画像データベース」の続編として、戦後のポスター資料の公開に向けて作業を開始しました。夏ごろをめどに公開できる予定です。

OISR.ORG (<http://oisr.org>)

(野村一夫)